

20万人
ひろば



▲TRC八千代中央図書館から臨む花火



▲消防音楽隊によるステージ演奏

第50回八千代ふるさと親子祭 8,888発の打ち上げ花火が夜空を彩りました

8月24日に、「第50回八千代ふるさと親子祭」が同祭実行委員会と市の共催で開催されました。

今年は、50回目の節目として八千代市の「八(はち)」にちなみ、親子祭史上最大規模の8,888発の打ち上げ花火が夜空を彩りました。そのほか、灯ろう流しや模擬店の出店、5年ぶりに復活したステージイベントなどで会場は大盛況となりました。

コスタリカでコミュニティ開発 JICA海外協力隊 田中優貴子さん

7月30日、(独)国際協力機構(JICA)の海外協力隊として、コスタリカへ派遣される市内在住の田中優貴さんが市長を表敬訪問しました。

現地で2年間、コミュニティ開発に携わる田中さんは、「派遣中には、日本のスポーツ、食生活、アニメや観光地などのPRもしたいです。八千代市とコスタリカの架け橋になれるよう頑張ります」と熱い思いを語りました。



▲田中さん(左)と服部市長(右)

チアリーディング世界大会7位入賞 阿蘇米本学園9年生 黒澤優花選手

アメリカフロリダ州で開催されたチアリーディング世界大会「The SUMMIT」で55チーム中7位に入賞した、Inzai Cheer Glittersに所属する黒澤優花選手が7月29日に市長を表敬訪問しました。

黒澤選手は、「世界大会への出場は今回で2回目です。前はあまりよい成績ではなく、今回は結果を出して皆で喜び合おうと決め、練習を重ねてきました。その成果が現れ、とても嬉しく思っています」とコメントしました。



▲服部市長(左)と黒澤選手(右)

全中男子棒高跳び5位入賞 東高津中学校3年生 高橋昊真選手

8月17日に福井県で開催された「第51回全日本中学校陸上競技選手権大会」に、男子棒高跳びで出場した印旛ポールヴォールトアカデミー所属の高橋昊真選手の激励会が、大会に先立ち7月29日に開催されました。激励会で「全国大会に出場できることは嬉しいですが、気を抜かず、課題の空中動作を大会までに修正し、更なる記録更新を狙いたいです」とコメントした高橋選手は、大会で4m30cmの記録を残し、見事5位入賞を果たしました。



▲服部市長(左)と高橋選手(右)

ミニ・ガイド

- ご存知ですか？労働委員会～雇用のトラブル
まず相談～ 千葉県労働委員会では、労働者と使用者の間で生じた解雇・パワハラなどのトラブルについて、労働委員会が間に入って、円満な解決を目指す「個別的労使紛争のあっせん」を行っています。あっせんは無料。労働者、使用者のどちらからでも申請できます。問い合わせ・申請先は、千葉県労働委員会事務局☎043-223-3735へ
- 千葉県委託事業「オストメイト（人工肛門・人工ぼうこう造設者）社会適応訓練講習会」 東京女子医科大学八千代医療センター皮膚・排泄ケア認定看護師講演「日常生活におけるストーマケア」や装具展示説明会など。先着70人。11月9日(土)午後1時～4時(午後0時30分受付開始)。市福祉センター。原則電話予約・当日参加可。問い合わせは日本オストミー協会千葉県支部☎043-309-7571 ☎043-309-7572へ
- 行政書士による無料相談会 相続、遺言、外国人ビザ関係、各種許認可などの相談を受けます。

- 10月5日(土)午後1時～3時、船橋駅北口デッキ広場、船橋駅南口広場(連絡通路)、JR津田沼駅自由通路。JR津田沼駅会場は午後2時30分に終了。問い合わせは千葉県行政書士会葛南支部☎070-2658-6863へ
- 精神障害者家族 対話の集い 佐倉市家族会のご家族と一緒に、精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどについて話し合う「対話の集い」を開催します。9月26日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野(習志野中央公民館)。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊☎453-6760へ
- 福祉のしごと就職相談会 社会福祉施設事業所などへ就職を希望する人を対象に、採用担当者との個別相談や福祉の職場についての相談などを行います。9月28日(土)午前11時～午後3時、京成ホテルミラマーレ。事前申し込み・履歴書・スーツ不要。県福祉人材センター☎043-306-1277
- 紙おむつの当て方教室 紙おむつの当て方に悩んでいる人やこれから紙おむつの当て方を勉強したい人対象。先着20人。10月29日(火)午後2時～3時、

イオンモール八千代緑が丘アゼリア広場。申し込みは、10月18日(金)までに市社会福祉協議会☎483-1171へ。

(市介護サービス事業者協議会)



市民伝言板 /

- ワイワイみんなの歌会 歌の本をもとに、皆さんからのリクエストで唱歌や昔の歌謡曲を歌います。今回はサクスの演奏もあります。申し込み不要。9月29日(日)午後2時～4時30分、八千代台文化センターホール。ワイワイ音絵体クラブ・加藤☎482-5228
- フォトU同好会写真展 課題作品の「乗り物」は、それぞれの感性で表現し、自由作品は身近な風景、生活、出会い、感動を表現しました。10月3日(木)～6日(日)午前10時～午後5時(初日は正午から、最終日は午後4時まで)、勝田台文化センター。フォトU同好会・横山☎090-4368-0674

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

咲き終えし花木にひとこと声かけて肥料施す惜春の庭
(大和田新田) 諏訪 俊一
よしきりの声けたたましき早苗田に捕植する背牛歩のごとく
(桑 納) 石上 文枝
故郷の墓参最後とすませ甲斐駒を目にやきつけて夫決別す
(八千代台北) 水野大佳代
姉妹は三人なるも子は二人孫は一人で日本の縮図
(八千代台東) 伊藤 浩子
はかりえぬ余命思ふも声のみの断捨離つばやく身疲れの宵
(村 上) 新井 豊子
前世に言葉を置いて来しごとく施設の人らの会話難し
(大和田) 紺野 正勝
桜木につながれし馬に近寄ればすまし顔して我に流し目
(勝田台) 浅岡 弘子
信号や標識守ってきたけれど吾の愚かな恋は脱輪
(勝田台) 栗山 浩輔
この胸にのこるほえみあたたかく何年たっても我をはげます
(村 上) 植村 恭子
選評 一首目、かけた声は、おれや来年も咲いてという希望だったか。「惜春」は季節用語だが、その「惜」には花への愛や感謝が重なるように見えた。二首目、「牛歩」はのろい動作で、即ち老人を意味し、農業主が老人という現状を示している。三首目、高齢になって故郷の墓参はこれが最後という侘しさである。故郷の象徴の山「甲斐駒」が効いている。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

書きたいけど家計簿にない浪費欄 勝田台 福島 つぐ
ダイケアの窓に聞こえるわらべ唄 勝田台 小林きらら
舌打ちを喋るAI発しそう 村上団地 押切 卓郎
身の丈の幸せでいいパン齧る 上高野 神津真智子
優秀な議員も罹る物忘れ 萱田町 倉林おさむ
新婚の朝寝に邪魔なふれ太鼓 緑が丘 宮崎 巖
リハビリのイケメン医師にばは恋す 緑が丘 橋本 静恵
懐メロで一気に戻る半世紀 大和田 伊藤 なが
坐禅くむ青い瞳の高野山 萱田町 望月 溪仙
就寝へ一匹の蚊に眠れない 高津 岡田やほこ
嫁に来て時が流れて五十年 村上団地 阿部ちえこ